

令和 3年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名	多摩市
学校名	多摩市立南鶴牧小学校

1 事業目的 協議会名 南鶴牧小グリーンネットワーク委員会

2020東京オリンピックのレガシーとして、ボランティアマインドを醸成し、自助・共助の気運を高め、地域の教育力向上を目指すために、校庭芝生の維持管理や地域に愛される芝生化校庭を担う中心としての南鶴牧小グリーンネットワークのさらなる活性化を目指すとともに、子どもが体を動かす喜びを味わえる環境を整備していくことを目指す。

2 主な取組と成果

2020東京オリンピックレガシーとして、地域・保護者・児童のボランティアマインドを醸成するために、校庭芝生の維持管理作業への協力依頼を本協議会ブログ、南鶴牧小学校の学校ホームページ等で広報をした。新型コロナウイルス感染症拡大の中、地域・保護者と連携した芝生維持管理作業は、12月までに例年の1/3の10回しか実施することができなかった。しかし、延べ812名の地域・保護者・児童・学校の参加があった。保護者ボランティアの参加率は昨年度よりも上がり、児童のボランティアの参加も延べ214名で保護者・児童のボランティアマインド醸成の機会となった。

芝生校庭の維持管理は、芝生維持管理団体である本協議会(南鶴牧小グリーンネットワーク)のリーダーシップの下、適切な管理を継続することができた。14年目となる芝生校庭をすばらしい状態で管理することができているとともに、本協議会の適切な運営を継続することができた。

これまで実施してきた芝生祭りは新型コロナウイルス感染症拡大を受けて中止したが、11月27日には芝生開放デーを開催し、児童68名を含む103名が参加した行事を実施することができた。

3 取組内容

芝生維持管理作業は3月中旬～12月上旬の毎週土曜日9:00～10:00を基本として実施している。作業内容は、芝生の上の清掃、芝刈りを中心としながら、施肥、雑草抜き、補植、砂入れ、散水、用具の準備・片付・整備、圃場整備、側溝清掃、芝生脇のサクラの剪定など多岐にわたっている。作業のリーダーは本協議会の主要メンバーである地域の野球クラブ・サッカークラブ、おやじの会が1週間ごとに交代して行い、父母と教職員の会の芝生担当世話人と各学級のボランティアが交代で作業を行っている。今年は新型コロナウイルス感染症拡大のために各学級の分担は年間2回となった。各回の時間は1時間。リーダーも作業する方も一部の方の負担が大きくなることを避けながら芝生維持管理作業を続けていくシステムをつくり上げている。手押し芝刈り機を多くの方で交代しながら作業する方式をとることで、協力する気持ちが高まり、共生・共助社会を形成していくことに一役買っている。(参加者:地域・保護者・児童・学校、延べ812名)

例年実施していた芝生祭り(エコスポ祭り)は新型コロナウイルス感染症拡大のため今年度も実施することができなかったが、11月27日に芝生開放デーを実施したところ、予想以上の参加者があり、今後の新たな展開となりうる示唆を得た。(参加者:児童・保護者・学校、延べ103名)

児童に向けて「しばちゅん芝生作品大賞」を実施し、昨年度募集した第8回の表彰式を実施した。今年度も2月に第9回目となる作品募集を行う予定である。(参加者:児童・学校・本協議会、540名)



4 今後について

- 2020東京オリンピックレガシーとして地域の共生・共助社会に資するコミュニティーの1つとして、本協議会と芝生校庭が持続可能な発展をしていくことができるよう保護者・地域に芝生校庭や芝生維持管理作業のよさについて、本協議会ブログや、学校だより、学校ホームページで広報する。
- 芝生応援キャラクター「しばちゅん」を活用しながら、地域の宝として愛着をもってもらえる芝生校庭となるようにしていく。
- 校庭芝生化14年目に入り、乗用型芝刈り機更新のための資金作りに継続して取り組む。